

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

あの手この手

12月号
2014



[活動分野]シリーズ(9)
～消費者の保護～
4ページをご覧ください。

あの手この手のマークの間のSIは solution(解決)のSです。
大和市民活動センター[拠点やまと] 第89号 2014年 12月 1日発行



「YAMATO イラストレーションデザインコンペ」作品シリーズ その7 「いろんな夢があるんだねえ」

イラスト&メッセージ

大津真理子さん

テーマ「夢」を私なりのイメージでコミカルに仕上げました。夢が覗ける色メガネで家族の姿を見てみたら・・・みんなそれぞれ夢があるのねえ～
お嫁さん・金メダリスト・コックさん・宇宙飛行士・・・
あら、パパとママの夢は？
「今日と変わらない毎日が続くこと」ですって。
夢は十人十色だね。

「YAMATO イラストレーションデザインコンペ」は市民活動団体「ドラマティックカンパニーYAMATO50」が大和市文化振興課と協働事業で実施しています。若者の発表活動をサポートするとともに、大和をイラスト溢れるまちに変えていくことを目的に、平成23年度から実施している公募型のコンペです。「あの手この手」では、来年3月号までの表紙に10回シリーズで紹介いたします。



今年もみんなで大掃除しましょう！

12月27日(土) 10:00～12:00

大勢で掃除すれば、あっという間にキレイに。

その後は交流会です。(15:00閉館)



「センター」のモットー

あの手この手
楽しいことがあるのなら
みんなで一緒に楽しもう
あの手この手で考えて
あの手この手で楽しもう

困ったことがあるのなら
みんなで一緒に解決しよう
あの手この手で考えて
あの手この手で解決しよう

あの手この手の作戦会議
あの手この手で問題解決

＜年末年始 閉館のお知らせ＞

今年 12月29日(月) ～ 来年 1月4日(日)
までお休みです。

年明けの 1月5日(月) から開館します。

＜今月号掲載＞

- 「カッコーフェスタ'14 盛り上がりました」「イーパーツ パソコン寄贈のお知らせ」p.2
- 「10周年記念パネル巡回展を開催します」「10周年記念交流会を開催しました」p.3
- 「FM やまと～やまとっ☆みつけた～」 「活動分野シリーズ」p.4

*「あの手この手」は大和市民活動センターのHPではカラーでご覧になれます。

今年は大和市民活動センター設立10周年



カッコーフェスタ'14 盛り上がりました

ワークショップ会場では、こんな感想が・・・



「大和南京玉すだれの会」

＜玉すだれと皿回しに挑戦＞

- ・玉すだれがあんなしくみになっていたなんて、びっくりした。
- ・初めて参加させていただいて、とても楽しく、うれしかったです。

「チームピースチャレンジャー」

＜サリーの着付け体験＞

- ・初めてのサリー体験はとても新鮮で素敵でした。一枚なのに、温かさも感じ女性らしさがとても引き出されて新たな発見で、とても魅了されました。

「やまと災害ボランティアネットワーク」

＜防災マップ作り＞

- ・東日本大震災の時は中学1年生で、とても怖い思いをした。「防災マップ」は大事なものなんだと思った。
- ・このプログラムを自治会などに広げたい。出張講演をお願いします。

「アップルポリシャー」

＜英語で絵本の読み聞かせ＞

- ・子どもとの対話、みんなで声を出して英語を発音してみれば、参加者も更に楽しめると思いました。

「おりがみサークル」

＜折り紙に挑戦＞

- ・むずかしいけど、ヤマトンがかわいくできて、よかったです。
- ・コマは大変むずかしくて、途中でどうなったか、さっぱり。4枚合わせは作れそうなので、お正月まで沢山折って老人ホームの人と楽しみたいです。

「ナルク横浜」

＜助け合い・奉仕・自立を目指して＞

- ・ボランティアの数を増やすための施策の一つとしての可能性を感じます。
- ・資本主義の中でただお金だけがすべてではない関係は必要。地域での関係は素晴らしい活動だと思います。

「デイサービス ハッピー鶴間」

＜認知症理解の第一歩＞

- ・いろんなアプローチで認知症の方々の能力を引き出す。卓球バレーやバーチャルトラベルの実例を見せていただきました。通いたくなる、通うのが楽しくなるデイサービスですね。
- ・ボランティアに活用させていただきたいです。

「食のアトリエ」

＜地域通貨ゲーム＞

- ・助け上手の人なのに、助けられ上手になった。積極的に手を上げよう！
- ・お互いが助け合うことにより、人と人の輪ができ、コミュニケーションが生まれ、楽しい、安心して住める地域ができることを願います。

「アトリエピッピ」

＜スタンプでオリジナルグッズ作り＞

- ・いろいろなものやかたちが出てきて、楽しかったです。またやりたいです。
- ・子どもと一緒に遊びながら作って、楽しかったです。
- ・かなり、なやみながら？レイアウトを頑張っていました。

「おんがくサークルスマイル」

＜親子で音楽あそび＞

- ・子どもたちがイキイキと楽しめて、とてもよかったです。自分の子たちもまわりのおんなもニコニコでとても Happy な時間でした。
- ・普段、子どもと遊ぶ機会がないので、よい時間を過ごせました。

「大和市地域活性化実行委員会」

＜南林間～西鶴間バージョン DVD 鑑賞とみんなで踊ろう＞

カッコーフェスタ参加者全員で「恋するフォーチュンクッキー」を踊りました。



展示、販売会場では・・・



「食のアトリエ」

奈良少年刑務所の少年たちの詩集「空が青いから白を選んだのです」はアトリエ憲章の草案者・寮三千子さんが編集。柏木学園高校の濱谷先生が毛筆で書いた詩を数編展示。通りがかりの人たちの涙を誘っていました。

「カトリア会」

昨年、樹脂粘土で作るお花作りに参加した小学生から今年もやりたいとの希望が寄せられ、今年も実施。熱心に教えてもらっていたのが印象的でした。

「引地川水とみどりの会・こどもエコクラブ」

恒例のゴミ分別クイズは、企画から当日の運営までを子どもたちが実施。用意した景品がなくなったところで終了。テント張りから撤去まで積極的に活動しました。

「いきいきフォーラム草の根支援」

ネパールの紅茶を販売しながら、支援先の実情を話し、「おりがみサークル」より寄贈された作品を、支援先に持って行って交流した写真も展示しました。

「ナルク横浜」

手作り品の販売をしながら、ボランティア活動に参加する仲間を募っていました。

「パン工房 麦の香り」

障がい者に働く場を提供し、自立を支援するパン屋さん。人気の「カッコちゃんパン」を求めて来店する人もいて、両日とも完売。突然の雨には自前のテントを張っての対応で、大事なパンを濡らすことなく販売できました。

「WE21ジャパン大和」

アジアの女性の自立支援活動のために、フェアトレード品、リメイク品などの販売をして、支援を呼びかけていました。

～公益的な市民活動団体へパソコン寄贈～

大和市民活動センター登録団体にはPC5 台枠での募集です。

＜募集期間＞

2014年12月15日(月)～

2015年1月23日(金)

＜提出資料＞

活動報告・団体規約・会計報告など

* 寄贈式は2015年3月14日(土)

大和市勤労福祉会館3Fホール

大和市民活動センター10周年記念パネル巡回展を開催します

大和市民活動センターの10年の歩みを10枚のパネルに仕立てました。
市役所ロビーをスタートに各施設にて掲示します。

1. 「ようこそ市民活動センターへ」
2. 「市民活動センターって？」
3. 「共育セミナー」
4. 「あの手この手」
5. 「あの手この手表紙絵」
6. FMやまと「やまとっこ☆みつけた」
7. 「カッコーフェスタ」
8. 「ボランティア活動推進」
9. 「ネットワーク交信」
10. 「登録団体一覧」



「ようこそ大和市民活動センターへ」

以下の施設にて掲示します。

大和市役所ロビー

12月16日(火)～19日(金)

渋谷学習センター(IKOZA)

1月28日(水)～2月3日(火)

桜ヶ丘学習センター

2月3日(火)～8日(日)

イオンホール

未定

11月22日(土)13:00～16:30 勤労福祉会館3F ホールにて

大和市民活動センター10周年記念交流会を開催しました

- 1部の市民活動センターの10年の歩みでは、市民経済部の北島部長が開設までを、開設からの10年を拠点やまとの関根会長がパワーポイントで紹介。
- 2部のエレベータートークでは、1分間の自己紹介を経て、出てきた課題について、全員で話し合いました。
- 3部の茶話会では、懐かしい人との再会や、お互いの活動についての話でおおいに盛り上がりました。

エレベータートークって？

初めて会った人に1分間で自己紹介。
今回は所属している団体の活動紹介を2人ペアになって実施。1回目が終わったところで、1分を十分活用できるように修正して、2回目に挑戦。3回目は全員に向けての発表としました。自分たちの活動の整理をして伝え、そこから課題もみえてきたところで、参加者全員で意見交換会としました。

課題は大きく6つに分けられました

活動する人材・ボランティア

- ・ スタッフが増えない。
- ・ 活動がひろがり、ボランティアが足りない状況が続いている。
- ・ 仕事の合間を利用したボランティア的な活動なので、時間と内容に制限が生じている。

☆イキイキとした活動があることを見せて、知ってもらうことが大事では。

☆同じような目的をもって活動している団体同士がいっしょに活動できないか。

☆NPOや自治会がつながって、地域が幸せになることが私の望みです。

世代交代

- ・ メンバーの高齢化→世代交代したい。
 - ・ 高齢化でプラスに考えられない。
 - ・ 実行委員が交代できない。新しい仲間も増えない。
- ☆この人とねらいを定めて、引き込むことも必要。

PR活動

- ・ 協働事業などの市民活動が残念ながら多くの市民に承知してもらっていません。広報紙だけではなく、PRの工夫が必要。
- ☆自信をもって活動をPRする。
☆イベントをたくさん企画してボランティアの機会を提供し、常にボランティア情報を発信して活動を継続してもらっている。

資金調達

- ・ 資金調達に苦心している。
- ☆企業と活動グループとのマッチングの企画。

企業・地域との関わり

- ・ 発達障害の人たちが社会に貢献することを望んでいるので、市内にその場を見つけないか。

☆センターが企業と活動団体の架け橋になってほしい。

11月6日(木)くもり

昨日、カッコーフェスタ'14の吊り看板を吊った。「遠くから見て、センターに洗濯物がいっぱいだ～」と思ったと、来館者。なるほど、洗濯物ね、と笑ってしまったが、公園に子どもたちを連れていく保育園の先生は、「パタパタきれいだね～。お祭りなんだね。」と指差していた。



10周年の歩みを説明する関根会長と北島部長(右)



麦の香りのパン、おいしそう～

